

STAGE+を楽しむ(56)(HP 収載)

—メード・フォー・オペラ—

1. 始めに

前報(55)に引き続き、STAGE+のメード・フォー・オペラの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、メード・フォー・オペラというアルバムの演奏を選びました。

メード・フォー・オペラ

ナディーン・シエラ, RAI 国立交響楽団, リッカルド・フリッツァ

曲目:

ジュゼッペ・ヴェルディ La traviata / Act 1

Estrano! Estrano! ナディーン・シエラ

Ah, fors' lui ナディーン・シエラ

Follie! Delirio vano e questo! ナディーン・シエラ

Sempre libera ナディーン・シエラ, Paolo Fanale

ジュゼッペ・ヴェルディ La traviata / Act 3

Teneste la promessa ナディーン・シエラ

Addio del passato ナディーン・シエラ

ガエターノ・ドニゼッティ Lucia di Lammermoor / Act 1

Introduzione

Ancor non giunse! ナディーン・シエラ, ヴェタ・ピリペンコ

Regnava nel silenzio ナディーン・シエラ, ヴェタ・ピリペンコ

Quando rapito in estasi ナディーン・シエラ, ヴェタ・ピリペンコ

ガエターノ・ドニゼッティ Lucia di Lammermoor / Act 3

O giusto cielo! ... Il dolce suono

ナディーン・シエラ, カペラ・クラコヴィエンシス

Ohim! Sorge il tremendo fantasma ナディーン・シエラ

Ardon gl'incensi ナディーン・シエラ, カペラ・クラコヴィエンシス

Spargi d'amaro pianto ナディーン・シエラ, カペラ・クラコヴィエンシス

シャルル・グノー Romeo et Juliette, CG 9 / Act 1

Ah, je veux vivre ナディーン・シエラ

シャルル・グノー Romeo et Juliette, CG 9 / Act 4

Dieu! Quel frisson court dans mes veines ナディーン・シエラ

Amour, ranime mon courage ナディーン・シエラ



以上のアルバムの他に STAGE+を楽しむ(52)で報告したオペラ・ガラのライブ収録があり、またパリのサル・ガヴオーで開催されたリサイタルの下記のライブ収録もありますので聴き比べてみます。

世界を虜にするナディーン・シエラによる多彩なプログラム

マチュー・ヘルツォークと共に

収録日: 2022年2月18日

本映像には、パリのサル・ガヴオーで開催された、現在最も注目されているアメリカ人ソプラノ歌手であるナディーン・シエラのリサイタルの様子が収められています。彼女を支えるのはヴィオラ奏者でもあるマチュー・ヘルツォーク。彼は自身が設立したオーケストラ「アンサンブル・アパッショナート」を率いて、オペラ・アリアやミュージカル・ナンバーなどを華麗に歌いこなすシエラの音楽をさらに輝かせています。なお、今回のプログラムは「Make Our Planet Great」と題され、自然とエコロジーをテーマにした内容となっていることも注目されます。

ソリスト:

ナディーン・シエラ (ソプラノ)

演奏:

アパッショナート

指揮:

マチュー・ヘルツォーク

曲目:

シャルル・グノー 《ロメオとジュリエット》より 〈私は夢に生きたい〉

ジュゼッペ・ヴェルディ

《リゴレット》第1幕より〈慕わしい人の名は〉(マチュー・ヘルツォーク編)

ジュゼッペ・ヴェルディ 《椿姫》より〈不思議だわ!... いつも自由で〉

(マチュー・ヘルツォーク編)

ジュゼッペ・ヴェルディ

La Traviata / Act I: "E' strano ... Ah! fors'e lui ... Follie! Follie! Sempre libera"

(Arr. Mathieu Herzog)

シャルル・グノー

《ロメオとジュリエット》より〈ああ、なんという戦慄が〉

(マチュー・ヘルツォーク編)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

《ツァイターデ》K. 344より〈やすらかにお休み、私のいとしい命よ〉

ピエトロ・マスカーニ 《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲

ジャコモ・プッチーニ 《ラ・ボエーム》より〈私の名はミミ〉

(マチュー・ヘルツォーク編)

レナード・バーンスタイン

《ウェストサイド・ストーリー》より〈サムウェア〉

(マチュー・ヘルツォーク編)

マヌエル・デ・ファリャ バレエ《恋は魔術師》より第8曲：火祭りの踊り

レナード・バーンスタイン

《ソングフェスト》より第3曲：ジュリア・デ・ブルゴス

(マチュー・ヘルツォーク編)

ヘイター・ヴィラ・ロボス 《アマゾンの森》より〈メロディア・センチメンタル〉

ヘロニモ・ヒメネス 《セビリヤの理髪師》より〈皆が私をべっぴんと呼ぶ〉

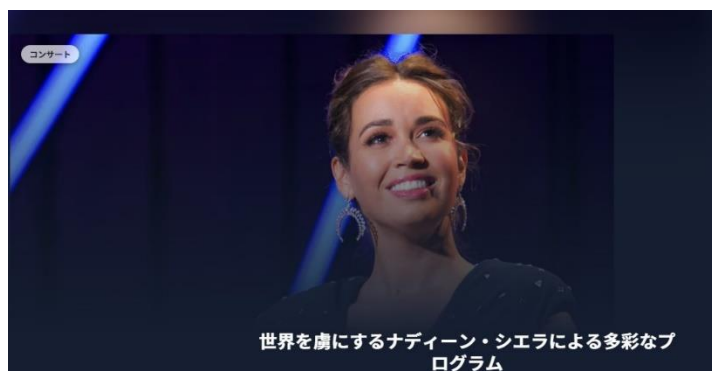
ジャコモ・プッチーニ 《ジャンニ・スキッキ》より〈私のお父さん〉

ギュスターヴ・シャルパンティエ 《ルイーズ》より〈その日から〉

(デイヴィッド・ウォルター編)

ヘロニモ・ヒメネス 《セビリヤの理髪師》より〈皆が私をべっぴんと呼ぶ〉

(マチュー・ヘルツォーク編)



3. 試聴の経過

上記アルバムは、オペラの名場面毎のソプラノのアリアを集めたものです。ナディーン・シエラは当代の人気ソプラノ歌手ですが、STAGE+の配信があって初めて知りました。

上記アルバムのいずれも、オペラの名場面の聴かせどころのソプラノのアリアですが、ナディーン・シエラの力強く、感情を込めた歌唱が伝わってきますし、バックのオーケストラの演奏も迫力があります。

オペラ・ガラのライブ収録およびサル・ガヴォーで開催リサイタルのライブ収録は、アルバムと重複する曲の椿姫やロミオとジュリエットのアリアを聴き比べてみますと、やはり細かい歌唱の表現やオーケストラのホールに響く間接音など、ステージ感でライブ収録の方が一歩抜きんでいます。

4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、ソプラノの歌唱の質感が十分に味わえました。また、ライブ感ではライブ収録に及ばないところがあるものの、歌唱の力強さやオーケストラの迫力もありました。

以上